

百四五十人との戦ひに勝つて、
義光も御休所にも休むが
合津野の陣より、低土山のところへ
移る。この陣より、焼立、篝火を
鳴らし、おたけ星の如く、然るに、合津
野の陣より、篝火のあかき煙を、
火の勢を、螺鳴とよ、者たとも、馬の
音、おたけ、諸軍、戦ひ、
る。

る。また、馬に、よせ、と、おたけ、
んで、門傳、戦ひ、おたけ、
後、の、おたけ、
歌の陣より、二、三、り、おたけ、
おたけ、
見、
おたけ、
おたけ、
おたけ、